

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年6月2日

## 【評価実施概要】

|               |  |       |           |
|---------------|--|-------|-----------|
| 事業所番号         | 0270202138                                       |       |           |
| 法人名           | 株式会社三輪商事   |       |           |
| 事業所名          | グループホーム薫風舎                                       |       |           |
| 所在地<br>(電話番号) | 〒036-8071 青森県弘前市大久保西田105-42<br>(電話) 0172-37-8800 |       |           |
| 評価機関名         | 社団法人青森県老人福祉協会                                    |       |           |
| 所在地           | 〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階             |       |           |
| 訪問調査日         | 平成22年3月18日                                       | 評価確定日 | 平成22年6月2日 |

【情報提供票より】(平成 22年 3月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                   |        |                          |
|-------|-------------------|--------|--------------------------|
| 開設年月日 | 昭和(平成) 18年 3月 27日 |        |                          |
| ユニット数 | 2 ユニット            | 利用定員数計 | 18 人                     |
| 職員数   | 20 人              | 常勤     | 17人, 非常勤 3人, 常勤換算 14.66人 |

### (2) 建物概要

|      |                 |  |  |
|------|-----------------|--|--|
| 建物構造 | 木造 造り           |  |  |
|      | 2階建ての 1階 ~ 2階部分 |  |  |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |               |                |                    |
|---------------------|---------------|----------------|--------------------|
| 家賃(平均月額)            | 18,000 円      | その他の経費(月額)     | 15,000~秋冬期21,900 円 |
| 敷金                  | 有( ) 円 (無)    |                |                    |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( ) 円<br>(無) | 有りの場合<br>償却の有無 | 有/無                |
| 食材料費                | 朝食            | 250 円          | 昼食 350 円           |
|                     | 夕食            | 450 円          | おやつ 円              |
| または1日当たり 1,050 円    |               |                |                    |

### (4) 利用者の概要( 3月 1日現在)

|       |           |      |      |    |      |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名      | 男性   | 4 名  | 女性 | 14 名 |
| 要介護1  | 0 名       | 要介護2 | 8 名  |    |      |
| 要介護3  | 5 名       | 要介護4 | 3 名  |    |      |
| 要介護5  | 2 名       | 要支援2 | 0 名  |    |      |
| 年齢    | 平均 82.1 歳 | 最低   | 74 歳 | 最高 | 97 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |                           |
|---------|---------------------------|
| 協力医療機関名 | 金子内科クリニック(内科)、波多野歯科医院(歯科) |
|---------|---------------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

|  |
|--|
| <p>閑静な住宅地の一角に設置されており、ホームからは岩木山と八甲田山が眺望できる。道路を挟んで小学校があり、声掛け隊という学校行事に入居者が参加するなど交流が活発に行われている。地域住民とも日頃から積極的に交流をされており、誰でも気軽に立ち寄ってくれる地域に溶け込んだホームである。また、ホームの特徴でもあるアロマセラピーの導入による認知症進行予防や健康体操などの実践的な取り組みがされている。</p> |
|--|

## 【重点項目への取り組み状況】

|      |   |
|------|---|
| 重点項目 | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価の結果を全職員で検討し、改善に向けた取り組みを行っている。地域密着型サービスの役割については理解しており、サービスには盛り込まれているが、理念に盛りこむべきかは、話し合われている最中である。</p>                                       |
|      | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義を理解し、自己評価は全職員で取り組んでいる。前回の評価結果を踏まえ、より良いサービスに繋がるよう取り組んでいる。</p>   |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催され、行政職員や地域包括支援センター、学校職員、地域住民、利用者が毎回参加している。ホームの取り組み状況や外部評価の結果を報告し、今後のサービスに活かせるよう、意見をいただいている。声掛け隊という学校行事も運営推進会議を通しての実践である。</p>  |
|      | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>家族の面会が多いので、職員はその都度家族に声がけし、普段から話しやすい雰囲気づくりや信頼関係づくり、意見を吸い上げるようにしている。また、玄関には意見箱を設置している。</p>   |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し地域高齢者教室、小学校声掛け隊、ねぶたや夏まつりに参加したり、ホームの庭でバーベキューをするなど、地域交流が活発に行われている。また、回覧板を利用し、介護・医療相談を行っていることを地域の方へお知らせしている。日常的な買い物や散歩を通して交流が活発で、近隣の方も気軽に立ち寄ってくれている。</p> |

## 2. 評価結果(詳細)

| 外部評価               | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|--------------------|------|--|---|---------------------|--|
| <b>理念に基づく運営</b>    |      |  |   |                     |  |
| <b>1. 理念と共有</b>    |      |  |   |                     |  |
| 1                  | 1    | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている  | 全職員で話し合い、利用者全員がひとつの家族として暮らせるよう6項目の誓いを掲げ、分かりやすい理念となっているが、地域密着サービスの理念としての内容にはなっていない。  |                     | 全職員で理念に対し前向きに取り組まれており、地域密着型サービスを展開しているため、地域でその人らしい生活を支えるという視点で理念の見直しに取り組むことに期待したい。 |
| 2                  | 2    | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる   | ホーム内に提示したり、職員はネームプレートに携帯し、いつでも見られるようにしている。また、毎朝のミーティングでは全員で唱和し、職員間で共有し振り返りの場となっている。   |                     |  |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |      |  |   |                     |  |
| 3                  | 4    | 隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。 | すぐ向かいに小学校があり、声掛け隊という学校行事に利用者が一緒に参加している。毎日の散歩が地域住民との触れ合いの機会となっており、顔馴染みになっていることで気軽に声を掛けてくれる人も多く、庭の野菜作りでも助言をしてもらっている。更に交流を深めるために地域の参加者を集い、庭でパーベキューをしたり、ねぶたや夏祭りなどに利用者と一緒に参加し交流の活性化に努めている。また、管理者と常勤の看護師が医療と介護の相談に乗り、地域に貢献できるよう取り組んでいる。 |                     |  |

| 外部<br>評価                     | 自己<br>評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                 |
|------------------------------|----------|---|---|---------------------|--|
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |          |   |   |                     |  |
| 4                            | 5        | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる  | 自己評価は普段から行われており、全職員で項目を分散してユニット会議で評価している。また、外部評価後も、内容を閲覧しミーティングで話し合いの場を設けて全員で検討しながら改善に取り組んでいる。                          |                     |  |
| 5                            | 6        | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている  | 運営推進会議は2ヶ月に1回定期的に行われ、行政職員や地域包括支援センター、学校職員、地域住民、利用者が毎回参加されている。ホームの取り組み状況や外部評価の報告をし、各参加者から意見をいただき、今後のサービスに活かされるよう取り組んでいる。 |                     |  |
| 6                            | 7        | 市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 運営推進会議の他、疑問や問題が生じた場合は行政に足を運び、随時相談しながら連携を図ることで課題解決やサービスの質の向上に繋がるように努めている。  |                     |  |
| 7                            | 8        | 権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している  | 以前、実際に制度を活用された利用者がいたこともあり、実際の業務として経験している。また、研修会に参加し、職員間で制度を理解できるよう勉強会も設けている。更に必要時には利用者、家族へ情報提供している。                     |                     |  |
| 8                            | 9        | 虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている   | 管理者が利用者のケアなど細かくチェックして、気づいた場合はミーティングなどで指導をしたり、気になった場合はさりげなく別の場所で職員同士で相互啓発に取り組んでいるが明文化されていない。                             |                     | 管理者自身マニュアル化の必要性を前向きに考えており明文化し職員間で共有していくことで更なるスキルアップに繋がることを期待したい。 |

| 外部評価                   | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |      |  |  |                     |                                  |
| 9                      | 10   | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>                                 | <p>入居前に利用者、家族に事業所の見学やそれぞれの思いを確認し、納得のいくまで話し合いの場を設けている。また、不安を感じている利用者には宿泊の体験などをして頂き、時間を掛けながら納得した上で同意を得ている。</p> |                     |                                  |
| 10                     | 12   | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>                              | <p>日々の様子ができるよう写真を多く撮り、毎月、職員作成の手紙と共に送付し家族へ報告している。金銭管理においても出納帳の写しと領収書などを添えて報告している。</p>                         |                     |                                  |
| 11                     | 13   | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                | <p>家族の面会が多いので、職員はその都度家族に声がけをし、普段から話しやすい雰囲気づくりや信頼関係をつくり、意見を吸い上げるようにしている。また、玄関には意見箱を設置している。</p>                |                     |                                  |
| 12                     | 16   | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>事業所の都合による異動は極力行わないようにしているが、異動や離職の場合は職員本人から利用者に不安を与えないよう言葉を選びながらあらかじめ話す機会を設けている。</p>                       |                     |                                  |

| 外部評価                             | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |      |  |   |                     |                                  |
| 13                               | 17   | 職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている           | 外部研修は各職員が年1回か2年に1回参加し、研修後は全職員へ周知している。法人内の研修なども積極的に行っており、サービスの資質向上に努めている。                      |                     |                                  |
| 14                               | 18   | 同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協会に加入し、同業者同士の研修会で集まる機会があり、相互に情報交換しサービス向上に取り組んでいる。                                      |                     |                                  |
| <b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |      |  |   |                     |                                  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |      |  |   |                     |                                  |
| 15                               | 23   | 馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している               | 家庭で過ごしてきた本人、家族の思いを受け止め、見学や会話の機会を十分に持つことで不安、戸惑い、寂しさを取り除けるよう、配慮、工夫されている。                        |                     |                                  |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |      |  |   |                     |                                  |
| 16                               | 24   | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                  | 職員自身ケアをする上で利用者を人生の先輩として教えを学ぶ姿勢ができています。また、本人のできることを見守りながら行って頂くことで本人自身、自信を持つことができ、生き生きと過ごされている。 |                     |                                  |

| 外部評価                                 | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| <b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>     |      |  |  |                     |                                  |
| <b>1.一人ひとりの把握</b>                    |      |  |  |                     |                                  |
| 17                                   | 30   | 思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 日頃の会話の中から気づきや本人の思いを引き出せるようコミュニケーションを図り、相手に合わせた暮らしができるよう配慮している。また、職員同士で意見を出し合い共通認識を持ったり、家族の方からも情報を提供してもらっている。                                       |                     |                                  |
| <b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |      |  |  |                     |                                  |
| 18                                   | 33   | チームでつくる利用者本位の介護計画<br><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | アセスメント時に本人、家族の協力を頂き、できるだけ家庭での生活を維持できるように細かい内容なども聞き取りして介護計画に反映させている。また、日常生活状況を観察して本人との会話を通して要望を聞きだしたり、職員からの情報や意見をもらいながら、本人の思いや希望が反映される介護計画が作成されている。 |                     |                                  |
| 19                                   | 34   | 現状に即した介護計画の見直し<br><br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画書は毎月見直しを行っている。職員は日々のコミュニケーションの中から本人、家族の思いに変化が生じた時点で見直しが行えるよう毎日の評価に努め、随時見直しができるよう努力されている。   |                     |                                  |
| <b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>              |      |  |  |                     |                                  |
| 20                                   | 36   | 事業所の多機能性を活かした支援<br><br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                                   | 訪問介護、薬剤師、主治医、協力医院の密なる連携が図られている。なかでも薬剤師による服薬指導は週1回あり、薬の作用による体に与える影響の大きさを学びながら支援できている。また、アロマセラピーなどを利用し認知予防に努めている。                                    |                     |                                  |

| 外部評価                               | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |      |  |  |                     |                                  |
| 21                                 | 40   | かかりつけ医の受診支援<br><br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 本人、家族の要望でかかりつけ医に受診できるよう配慮し、送迎支援もされている。また、協力医療機関との連携も密にし、いつでも相談できる体制作りができています。  |                     |                                  |
| 22                                 | 44   | 重度化や終末期に向けた方針の共有<br><br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 事業所独自の「重度化した場合の対応に関わる指針」を基に本人、家族の思いを大切に、意思を確認しながらかかりつけ医、協力医療機関とも十分な話し合いを設け、関係者全員で内容を共有している。  |                     |                                  |
| <b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>     |      |  |  |                     |                                  |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |      |  |  |                     |                                  |
| (1) 一人ひとりの尊重                       |      |  |  |                     |                                  |
| 23                                 | 47   | プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 記録物は決まった場所へ保管されている。必要に応じて施錠して保管しているものもある。利用者に対してはさりげなく声がけしたり、個人ファイルを部屋名にするなどの工夫がされ、プライバシー保護に努めている。                                     |                     |                                  |
| 24                                 | 49   | 日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 利用者の意向を確認し、温泉外出やドライブなどへ出かけることも多く気分転換になっている。また、毎日の散歩が日課になっており、職員と1対1で近隣を散歩することが定着されていることで外気に触れ、リフレッシュ、体力づくり、本人の思いを引き出し、希望に沿った支援に繋がっている。 |                     |                                  |

| 外部<br>評価                      | 自己<br>評価 | 項 目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |          |  |   |                     |                                  |
| 25                            | 51       | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>利用者と職員と一緒に食事の準備や後片付けを行っている。また、職員も一緒に食事を摂り、会話も弾み楽しいひと時となり、本人のペースで食事が摂れるよう配慮されている。</p>   |                     |                                  |
| 26                            | 54       | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>      | <p>曜日や時間帯の取り決めは行っておらず、いつでも希望があれば入浴できるよう対応している。本人の希望に合わせて温泉へ出かけたり、職員も一緒に入浴し裸の付き合いをしながら、コミュニケーションを取り楽しめるよう配慮されている。</p>                    |                     |                                  |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |          |  |   |                     |                                  |
| 27                            | 56       | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>    | <p>日常的に朝、目覚めれば玄関の鍵をあける人、花に水を上げる人、カレンダーをめくる人、カーテンを開ける人、食事の準備、後片付け、炊飯セットする人などそれぞれができることが多く、生活歴を活かした役割が自然とできており、生き生きとした張りのある生活ができています。</p> |                     |                                  |
| 28                            | 58       | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>                      | <p>個人に合わせた毎日の散歩、希望に応じて買い物や温泉外出、行事にて遠出をしたり、家族が迎えに来て外出するなどが、戸外へ出かける機会作りができています。</p>   |                     |                                  |



| 外部評価                       | 自己評価 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | 印<br>(取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                       |
|----------------------------|------|--|---|---------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援            |      |  |   |                     |  |
| 29                         | 62   | 身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 毎月あるミーティングで議題として取り上げたり、勉強会を実施し、気づきあうよう声かけできる体制作りはできているが、「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」が文章化されてないことで具体的な内容が十分に説明できない。                                      |                     | 身体拘束をしないケアについて明文化することで、よりスキルアップすることを期待したい。             |
| 30                         | 63   | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | 利用者が外出したい時にいつでも出かけられるよう、職員が見守りをし、さりげなく声かけをしたり一緒に出かけるなどして、鍵をかけないケアが実践されている。  |                     |  |
| 31                         | 68   | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている              | 毎月、防火管理者が主となり避難訓練を計画し行っていることで利用者も動揺することなくスムーズに訓練ができています。非常食に関しては母体である本部に預けている。更に、スプリンクラーも設置され火災に対する意識付けができています。また、昨年、隣家の火災時、地域の協力を受け、地域の協力の有り難さを実感している。 |                     |  |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |      |  |   |                     |  |
| 32                         | 74   | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                 | 食事量や本人に合った形態などが把握されている。また、水分摂取に関しても記録され不足にならないよう支援しているが、定期的に栄養士から助言を得られるような体制はない。   |                     | 栄養バランスに配慮された献立を作成するためにも、定期的に栄養士から助言を得られるような体制作りに期待したい。 |
| 33                         | 75   | 感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)                       | 外出の機会も多いため、感染に対する意識付けも強く、出入りの際は職員がそのつど手洗い、うがい、予防のためのマスクをかけるなど習慣づいている。また、感染症マニュアルが作成されており、資料に基づき勉強の機会を設けている。   |                     |  |

| 外部<br>評価<br>値   | 自己<br>評価 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | 印<br>(取り組みを期<br>待したい項目) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---|----------|---|--|-------------------------|----------------------------------|
| <p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p> |          |   |  |                         |                                  |
| 34  | 78       | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>プライベートカーテンを設置している。椅子での生活が主となるため畳の場所を作って過ごしたり、プライバシーの尊重と自立支援のため各部屋にトイレが設置されている。入浴時も脱衣時に尿・便意があってもすぐに対応しやすいように、トイレを設置するなど、利用者が居心地よく過ごすことができるよう工夫されている。</p> |                         |                                  |
| 35  | 80       | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>                   | <p>家具、寝具、テレビ、位牌など本人が家庭で過ごされた状況が変わらないよう使い慣れたものが持ち込まれており、居心地良く過ごされるよう配慮している。</p>   |                         |                                  |

 は、重点項目。